

絵本をつくりました



6月17日、岩国市玖珂町の西村麻衣子さんが、絵本「LUPPIIY ISLAND (ラッピー・アイランド)」を町へ寄贈しました。

これは、西村さんが、2年前の5月に周防大島町へ寄港したハワイの伝統航海カヌー「ホクレ

ア号」を見学し、クルーたちの自然や、先人に対する思いやりにとても感激し、作成されたものです。

西村さんは「世界はみんなつながっている。絵本を通じて自分らしさというものを大切にしてほしい。」と述べられました。

絵本は本屋で購入することができ、寄贈された本は町内各図書館へおいてあります。



陸奥慰霊祭

6月8日、伊保田の陸奥公園で陸奥慰霊祭が行われ、昭和18年に戦艦陸奥の沈没事故で亡くなった1121人の犠牲者の冥福を祈りました。

参列者で乗組員生存者の篠原喜一さん(長野県小海町)は「事故当時は、しとしと雨が降っていて、ドーンという爆音があり、艦が傾いた。健康である限り、参列を続けたい。」と話されました。



はじめまして 町の顔



▲右側が浜津芳弥さん
左側が木下亜佑美さん

なぎさ水族館 浜津 芳弥

4月からなぎさ水族館で働くことになった浜津と申します。北里大学水産学部を卒業し、この島にやって来ました。水族館では、自分たちで釣った魚や、地元漁師さん

命となり合わせで、ドタバタな毎日ですが、充実した仕事です。水族館に来て、この島周辺の海にどんな生き物が生息するのか、ぜひ見ていただきたいです。水族館でお待ちしております。

なぎさ水族館 木下 亜佑美

4月からなぎさ水族館で働いています木下と申します。地元は兵庫県の尼崎市で学校は大阪の専門学校。主に海洋生物について勉強し、水族館などに実習に行ったりしていました。

今、私は周防大島を満喫しております。地元の方に手作りの竿で魚の釣り方を教えていただいたり、25年に一度の祭りに参加させていただいたり、近所の方から野菜や魚などをいただいたり、尼崎では体験できないことをさせてもらい、充実した日々を送っています。

このなぎさ水族館に就職して、今はまだ知識もないし、たくさんの方に助けてもらって迷惑ばかりかけておりますが、日々勉強したいと思えます。これからたくさんお世話になります、どうぞよろしくお願ひします。

